

## 貯水槽清掃業務個別仕様書

### 1 対象設備

受水槽（沈砂槽No.1）ステンレス製	容量15m <sup>3</sup> 、有効容量13m <sup>3</sup>
受水槽（飲料水No.1）ステンレス製	容量72m <sup>3</sup> 、有効容量68m <sup>3</sup>
受水槽（雑用水No.1）ステンレス製	容量105m <sup>3</sup> 、有効容量90m <sup>3</sup>
受水槽（沈砂槽No.2）ステンレス製	容量15m <sup>3</sup> 、有効容量13m <sup>3</sup>
受水槽（飲料水No.2）ステンレス製	容量72m <sup>3</sup> 、有効容量68m <sup>3</sup>
受水槽（雑用水No.2）ステンレス製	容量105m <sup>3</sup> 、有効容量90m <sup>3</sup>
高置（高架）水槽（飲料水No.1）ステンレス製	容量18m <sup>3</sup> 、有効容量15m <sup>3</sup>
高置（高架）水槽（雑用水No.1）ステンレス製	容量18m <sup>3</sup> 、有効容量15m <sup>3</sup>
高置（高架）水槽（飲料水No.2）ステンレス製	容量18m <sup>3</sup> 、有効容量15m <sup>3</sup>
高置（高架）水槽（雑用水No.2）ステンレス製	容量18m <sup>3</sup> 、有効容量15m <sup>3</sup>

### 2 実施回数・期間

各水槽とも年1回実施することとし、7月～12月の期間で適宜実施する。

### 3 保守の内容等

- (1) 貯水槽等の保守内容は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の作成する「建築保全業務共通仕様書（平成30年版）」4.5.1及び4.5.2（P110-111）のとおりとする（清掃を含む）。
- (2) 作業責任者は、昭和49年6月10日付け厚生省環境衛生局長通達環企第26号第2の4(3)の規定による資格を有すること。
- (3) 作業実施者は、水道法第21条及び水道法施行規則第15条に定める健康診断を受けた者とする。